

剣道連盟

# 剣士14人が年越稽古

## 3年ぶり 次世代への継承誓う

宮古剣道連盟（根間康雄 会長）は12月31日から1月1日にかけての深夜、北小体育館で3年ぶりの越年稽古を行った。一般剣士14人が年頭の抱負を語った。

が参加し宮古剣道の継承と発展を誓うとともに、2023年が生まれ年にあたる根間武志さんと楚南宏武さんが年頭の抱負を語った。



3年ぶりの剣道越年稽古に汗を流した＝12月31日、北小学校体育館

稽古始めに根間会長は「例年であれば3、4倍のメンバーがいたが、年々剣道人口が減少しつつある。我々が剣道の歴史を守り次の代につなげていくために越年稽古をしっかりと続けていこう」とあいさつ。稽古終わりの年明けには「明けましておめでとう。全国で越年稽古が縮小される中、少人数で頑張った。飛躍できるような1年にできるよう協力して頑張っていこう」と激励した。

ことしで満24歳になる根間さんは「3月の警察学校卒業に向けて残りの期間、

警察官としての基礎を学び日本国民の安心安全を守るよう頑張る」と述べた。同じく年男で警察署に勤務している楚南さんは「目標としている刑事部に配属されるよう頑張る。剣道は基本を忠実に日々鍛錬に励みたい」と語った。

# 初便で安全運航祈願

## JT・ARAC 明るい1年を願う

日本トランスオーシャン航空宮古支社（JT・A・小堀健一支社長）は1日、宮古空港で2023年初便の安全祈願行事を行った。乗客・貨物の安全な運航を誓うとともに、コロナ禍を克服して23年が明るい年になることを願った。

祈願行事は那覇空港からの初到着便となるJT・A・551便と宮古初の出発便となる同552便で行われた。機体前輪に小堀支社長や野田昭洋機長ら清めの水をかけ1年間の安全運航を願うとともに、午前8時55分の出発を見送った。同日、宮古―多良間線の琉球エア―コミュニティー（RAC）801・891便でも同様の行事を行った。

小堀支社長は「昨年1年間、皆様のご協力をいただいて安全運航できたことにお礼申し上げます。ことし1年気持ちも新たに、宮古島の路線を安全に運航していく。コロナで約3年間厳しい中を歩んできたが、こ

としこそ明るい年になることを願う」と述べた。

